

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「あおぞら・先進国バランス・ファンド（為替ヘッジあり）“愛称森のしずく”」は、去る1月10日に第1期の決算を行いましたので、法令に基づいて運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

あおぞら・先進国 バランス・ファンド （為替ヘッジあり） 森のしずく

愛称

■本ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	原則として無期限
運用方針	主として、日本を含む世界の債券および株式に投資を行い、安定的な収益の獲得と信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	以下の指定投資信託証券を主要投資対象とします。 ・アイルランド籍外国証券投資法人（円建て） ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー グローバル・ショートターム・インベストメント・グレート・フィクスト・インカム・ファンド ・ケイマン籍外国投資信託受益証券（円建て） グローバル・マルチ・ストラテジーズ・U.S.・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジあり） ・米国籍上場投資信託証券（米ドル建て） ウィズダムツリー・U.S.クオリティ・ディビデント・グロース・ファンド ウィズダムツリー・インターナショナル・ヘッジド・クオリティ・ディビデント・グロース・ファンド
運用方法	①主として、日本を含む世界の債券および株式を主要投資対象とする別に定める投資信託証券に投資を行います。 ②債券部分の投資にあたっては、実質的な償還までの期間が5年以下の先進国の債券に広く分散投資を行います。また、ポートフォリオの平均デュレーションは3年以下となるようコントロールを行い、債券の平均信用格付は原則として投資適格（BBB格）以上を維持することを目指します。 ③株式部分の投資にあたっては、先進国の相対的に配当利回りが高い銘柄に投資を行います。 ④投資信託証券の組入比率は原則として高位を保ちます。 ⑤外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行います。
分配方針	分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額の範囲とし、収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等は分配を行わない場合があります。

運用報告書（全体版）

第1期

決算日
第1期 2017年1月10日



あおぞら投信株式会社

AOZORA

東京都千代田区九段南1-3-1

■ホームページアドレス

<http://www.aozora-im.co.jp/>

■お問い合わせ先

<お問い合わせ窓口>

03-4520-3401

受付時間：

営業日の午前9時から
午後5時まで

*お取引内容等につきましては、ご購入された販売会社にお問い合わせください。

■設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	税 込 金 分 配	期 騰 落 中 率	投 資 信 託 率 証 券 比 率	純 資 産 額
(設 定 日) 2016年 7 月29日	円 10,000	円 -	% -	% -	百万円 147
1 期 (2017年 1 月10日)	9,940	10	△0.5	98.0	520

(注1) 設定日の基準価額は設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注3) 本ファンドは複数の投資信託証券に投資するファンド・オブ・ファンズです。本ファンドは、日本を含む世界の中短期公社債および先進国の株式に幅広く分散投資を行います。資産配分については、目標とする収益率（リターン）と、想定される価格変動性（リスク）水準に基づいて定期的に見直すことを基本方針としています。このため、本ファンドの収益率を測る適切なインデックスが存在しないため、ベンチマークおよび参考指標を設けておりません。

■当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	投 資 信 託 率 証 券 信 比 託 率
(設定日) 2016年 7 月29日	円 10,000	% -	% -
7 月末	10,000	0.0	-
8 月末	9,982	△0.2	99.5
9 月末	9,952	△0.5	98.9
10月末	9,876	△1.2	98.9
11月末	9,884	△1.2	98.2
12月末	9,919	△0.8	98.8
(期 末) 2017年 1 月10日	9,950	△0.5	98.0

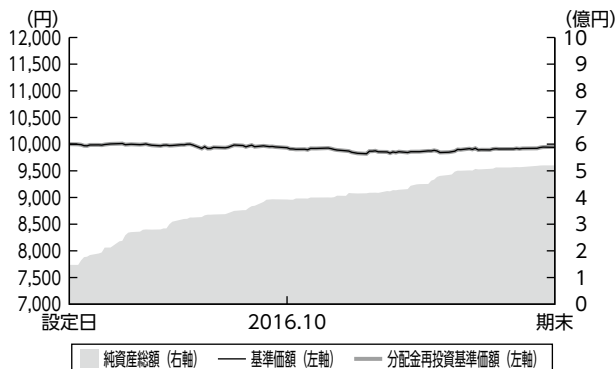
(注1) 設定日の基準価額は、設定価額を記載しています。

(注2) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は設定日比です。

(注3) 本ファンドは複数の投資信託証券に投資するファンド・オブ・ファンズです。本ファンドは、日本を含む世界の中短期公社債および先進国の株式に幅広く分散投資を行います。資産配分については、目標とする収益率（リターン）と、想定される価格変動性（リスク）水準に基づいて定期的に見直すことを基本方針としています。このため、本ファンドの収益率を測る適切なインデックスが存在しないため、ベンチマークおよび参考指標を設けておりません。

■運用経過（2016年7月29日～2017年1月10日）

基準価額の推移



第1期首：10,000円

第1期末：9,940円（既払分配金10円）

騰落率：△0.5%（分配金再投資ベース）

* 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

* 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

基準価額の主な変動要因

本ファンドの基準価額は、当期末において9,940円となり、2016年7月29日設定来のリターンは0.5%（信託報酬控除後、分配金再投資ベース）の下落となりました。当期前半は、F R B（米連邦準備制度理事会）による年内利上げ観測が強まったことや米国大統領選挙を巡る不透明感から先進国好配当株式が下落したことが基準価額の下落要因になりました。米国大統領選挙後、次期米国大統領に選出されたトランプ候補の景気刺激策に対してF R Bの利上げペースが速まるとの観測を背景に米国を中心に金利が大きく上昇する中、米国短期ハイ・イールド債券はほぼ変わらずであったものの、組入比率の高い先進国中短期投資適格債券が大きく下落した一方で、先進国好配当株式がトランプ候補の景気刺激策への期待から大きく上昇したことから、基準価額は上昇に転じました。

投資環境

当期の先進国中短期投資適格債券は下落しました。2016年11月の米国大統領選挙においてトランプ候補が次期米国大統領に選出されたことをきっかけに、大型減税やインフラ投資の拡大、規制緩和など、トランプ氏が公約としてきた景気刺激策が財政赤字の拡大やインフレをもたらし、F R Bによる利上げペースが速まるとの観測を背景として、米国を中心に金利が大きく上昇したことから、先進国中短期投資適格債券は下落しました。

米国短期ハイ・イールド債券はほぼ変わらずでした。トランプ次期米国大統領による景気刺激策に対してF R Bが利上げペースを速めるとの観測から米国金利が大きく上昇した一方で、市場参加者のリスク資産に対する選好姿勢の強まりを背景に全般的な米国ハイ・イールド債券の信用スプレッド（国債に対する社債の上乗せ金利）が大きく縮小したことで相殺されました。

先進国好配当株式は上昇しました。当期前半は、F R Bによる年内利上げ観測が強まったことや米国大統領選挙を巡る不透明感から下落しましたが、米国大統領選挙後、次期米国大統領に選出されたトランプ候補の景気刺激策への期待が高まったことや、O P E C（石油輸出国機構）加盟国および非加盟国による減産合意を受けて原油価格が上昇したことを背景として、大きく上昇しました。

当該投資信託のポートフォリオ

本ファンドでは当初の運用方針通り、以下の4つの組入れファンドへの投資を通じて、日本を含む世界の債券および株式に投資を行い、安定的な収益の獲得と信託財産の長期的な成長を目指して運用を行いました。

【先進国中短期投資適格債券】

ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー グローバル・ショートターム・インベストメント・グレード・フィクスト・インカム・ファンド（円建て）

【米国短期ハイ・イールド債券】

グローバル・マルチ・ストラテジーズ・U.S.・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジあり）（円建て）

【先進国好配当株式】

ウィズダムツリー・U.S.クオリティ・ディビデンド・グロース・ファンド（米ドル建て）

ウィズダムツリー・インターナショナル・ヘッジド・クオリティ・ディビデンド・グロース・ファンド（米ドル建て）

2016年7月29日設定日以降、年率3.0%の中長期的な期待リターン水準に基づいて、先進国中短期投資適格債券50%：米国短期ハイ・イールド債券25%：先進国好配当株式25%を概ねの目処としてポートフォリオを構築しています。

組入れファンドにおける当期の運用状況は以下の通りです。

<ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー グローバル・ショートターム・インベストメント・グレード・フィクスト・インカム・ファンド（円建て）>

主として国債、政府機関・国際機関債や投資適格の社債などの先進国の固定金利／変動金利中短期公社債（残存年限5年以内）に為替をヘッジした上で投資し、投資元本の保全を目指しながら、金利収入獲得の最大化を目指しました。2016年12月末時点で、先進18カ国の390銘柄に分散投資しています。

<グローバル・マルチ・ストラテジーズ・U.S.・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジあり）（円建て）>

主に米国市場で取引されている、米国企業の発行する米ドル建ての短期ハイ・イールド債券（償還期限概ね5年以下）等に為替をヘッジした上で投資し、インカム・ゲインの獲得と信託財産の成長を目指しました。2016年12月末時点で、58銘柄に分散投資しています。

<ウィズダムツリー・U.S.クオリティ・ディビデンド・グロース・ファンド（米ドル建て）>

主に米国の金融取引所で上場されている、成長性があり配当の支払いがある米国の大型株式のリターンを投資家に提供することを目指しました。2016年12月末時点で、GICS11業種分類中9業種、297銘柄に分散投資しています。なお、為替は対円でヘッジされています。

<ウィズダムツリー・インターナショナル・ヘッジド・クオリティ・ディビデンド・グロース・ファンド（米ドル建て）>

主に成長性があり配当の支払いがある、北米を除く世界の先進国の大型株式のリターンを、投資国通貨を米ドルにヘッジした上で投資家に提供することを目指しました。2016年12月末時点で、GICS11業種分類中10業種、先進21カ国の220銘柄に分散投資しています。なお、為替は対円でヘッジされています。

当該投資信託のベンチマークとの差異

本ファンドは運用の目標となるベンチマークや参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

分配金（1万口当たり、税引前）

本ファンドの収益分配方針に従い、当期の分配金は以下の通りといたしました。留保益の運用については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

（単位：円・%、1万口当たり、税引前）

	第1期	
	自 2016年7月29日	至 2017年1月10日
当期分配金	10	
（対基準価額比率）	0.101	
当期の収益	8	
当期の収益以外	1	
翌期繰越分配対象額	20	

（注1）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注2）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

本ファンドの基本資産配分は、資産クラス毎の期待リターンおよび推計リスクを基に行い、市場環境等により定期的に見直しを行います。その際は、①中長期的に期待リターンが達成できると見込まれる水準で、かつ、②債券部分の平均信用格付が投資適格となるように行います。

■ 1万口当たりの費用明細（2016年7月29日～2017年1月10日）

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
	円	%	
(a) 信託報酬	40	0.405	(a) 信託報酬＝〔期中の平均基準価額〕×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,935円です。
(投信会社)	(20)	(0.196)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(20)	(0.196)	運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0.012)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	7	0.069	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(投資信託証券)	(7)	(0.069)	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c) 有価証券取引税＝各期中の有価証券取引税÷各期中の平均受益権口数
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	14	0.137	(d) その他費用＝ $\frac{\text{〔期中のその他費用〕}}{\text{〔期中の平均受益権口数〕}}$
(保管費用)	(4)	(0.042)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(9)	(0.095)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	61	0.611	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

(注3) 「比率」欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、本ファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

■ 売買及び取引の状況（2016年7月29日～2017年1月10日）

投資信託証券、投資証券

銘	柄	名	買		付		売		付	
			口	数	金	額	口	数	金	額
外	アメリカ	ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー グローバル・ショートターム・インベストメント・グレード・フィクスト・インカム・ファンド	□		千円		□		千円	
			256,097		255,030		—		—	
国	アメリカ	グローバル・マルチ・ストラテジーズ・U.S.・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジあり）								
					千米ドル		□		千米ドル	
			12,868		126,506		—		—	
国	アメリカ	ウィズダムツリー・インターナショナル・ヘッジド・クオリティ・ディビデンド・グロース・ファンド	□		千米ドル		□		千米ドル	
			17,646		465		686		17	
国	アメリカ	ウィズダムツリー・U.S.・クオリティ・ディビデンド・グロース・ファンド								
			21,369		697		798		26	

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等 (2016年7月29日～2017年1月10日)

(1) 利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当期中における売買委託手数料の支払いはありません。

■第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況 (2016年7月29日～2017年1月10日)

該当事項はございません。

■委託会社による自社が設定する投資信託の受益証券の自己取引状況 (2016年7月29日～2017年1月10日)

該当事項はございません。

■組入資産の明細 (2017年1月10日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	当		期		末		
	□	数	評	価	額	比	率
ア イ ラ ド		□		千円			%
ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー グローバル・ショートターム・ インベストメント・グレード・フィクスト・インカム・ファンド		256,097		250,888			48.2
ケ イ ミ							
グローバル・マルチ・ストラテジーズ・U.S.・ショート・デュレーション・ ハイ・イールド・ボンド・ファンド (為替ヘッジあり)		12,868		126,076			24.2
合		計		268,966		376,965	72.4

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 比率欄は純資産総額に対する比率。

(2) ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	当		作		成		期		末
	□	数	評		価		額	比	率
			外	貨	建	金			
ア メ リ カ		□		千米ドル		千円			%
ウィズダムツリー・インターナショナル・ヘッジド・クオリティ・ディビデンド・グロース・ファンド		16,960		453		52,628			10.1
ウィズダムツリー・U. S. クオリティ・ディビデンド・グロース・ファンド		20,571		693		80,364			15.4
合		計		1,146		132,992			25.6

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 比率欄は純資産総額に対する比率。

■投資信託財産の構成

2017年1月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	
	%	
投 資 信 託 受 益 証 券	259,069	49.6
投 資 証 券	250,888	48.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	12,769	2.4
投 資 信 託 財 産 総 額	522,726	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末における外貨建て純資産(135,765千円)の投資信託財産総額(522,726千円)に対する比率は26.0%です。

(注3) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

1米ドル=115.96円。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2017年1月10日) 現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	658,284,292円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	11,019,493
投 資 信 託 受 益 証 券(評価額)	259,069,918
投 資 証 券(評価額)	250,888,917
未 収 入 金	137,275,312
そ の 他 未 収 収 益	30,652
(B) 負 債	137,970,428
未 払 金	135,559,260
未 払 収 益 分 配 金	523,476
未 払 信 託 報 酬	1,541,660
未 払 利 息	22
そ の 他 未 払 費 用	346,010
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	520,313,864
元 本	523,476,289
次 期 繰 越 損 益 金	△ 3,162,425
(D) 受 益 権 総 口 数	523,476,289口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,940円

(注1) 当初設定元本額147,416,497円、期中追加設定元本額376,318,587円、期中一部解約元本額258,795円。

(注2) 1口当たり純資産額は、0.9940円です。

(注3) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は3,162,425円です。

※本運用報告書作成時点において、本計算期間に係るファンド監査は終了していません。

■損益の状況

自2016年7月29日 至2017年1月10日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	3,533,056円
受 取 配 当 金	3,496,328
そ の 他 収 益 金	43,020
支 払 利 息	△ 6,292
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 2,038,692
売 買 損 益	21,054,243
売 買 損 益	△23,092,935
(C) 信 託 報 酬 等	△ 2,042,388
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△ 548,024
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 2,090,925
(配 当 等 相 当 額)	(94,283)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 2,185,208)
(F) 計 (D+E)	△ 2,638,949
(G) 収 益 分 配 金	△ 523,476
次 期 繰 越 損 益 金(F+G)	△ 3,162,425
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 2,185,208
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 2,185,208)
分 配 準 備 積 立 金	1,061,475
繰 越 損 益 金	△ 2,038,692

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,490,668円)、費用控除後の有価証券等損益額(0.0円)、および信託約款に規定する収益調整金(94,283円)より分配対象収益は1,584,951円(10,000口当たり30円)であり、うち523,476円(10,000口当たり10円)を分配金額としております。

■分配金のお知らせ

	第	1	期
1 万口当たり分配金(税込み)			10円

(注1) 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合

分配金は全額普通分配金となります。

(注2) 分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合

分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

(注3) 分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合

分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

<お知らせ>

該当事項はございません。

■指定投資信託証券の運用状況

(注1) 指定投資信託証券の運用状況データは2016年12月30日現在のものです。本データは、ウィズダムツリー・アセット・マネジメント・インクからの情報を基に委託会社が作成したものです。

(注2) 各項目の構成比は、保有株式の時価総額に対する比率です。また、各項目の比率は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー グローバル・ショートターム・インベストメント・グレード・フィクスト・インカム・ファンド

○ポートフォリオ概況

最終利回り	2.3%
平均残存期間	3.1年
平均デュレーション	2.9年
平均格付	A
銘柄数	390銘柄

(注1) 最終利回りは、実際の投資家利回りとは異なります。

(注2) デュレーションとは、金利の変化に対する債券の価格感応度を示す指標で、単位は「年」で表示されます。この値が長い(短い)ほど、金利の変化に対する債券価格の変動率が大きく(小さく)なります。

(注3) 平均格付とは、基準日時点での保有債券に係る信用格付を加重平均したものであり、指定投資信託証券に係る信用格付ではありません。

○種別構成比

債券種別	構成比
国債/政府機関債	21.8%
社債	78.3%
その他	0.0%
合計	100.0%

(注) 構成比は保有債券の時価総額に対する比率です。

○格付別構成比

格付	構成比
A A A	15.1%
A A	14.9%
A	41.2%
B B B	28.5%
その他	0.4%
合計	100.0%

(注1) 格付構成比はS & Pの格付における分類です。

(注2) 前月末残高と当月末残高の算術平均(月中平均)により算出。また、構成比は保有債券の時価総額に対する比率です。

○国別構成比

国・地域名	純資産比
米国	56.4%
英国	6.1%
スウェーデン	5.4%
ドイツ	4.8%
フランス	4.3%
オランダ	3.9%
日本	3.3%
その他	15.8%
合計	100.0%

(注1) 国・地域は組入れ銘柄の発行体の所在国・地域を示しています。

(注2) 前月末残高と当月末残高の算術平均(月中平均)により算出しています。

グローバル・マルチ・ストラテジーズ・US・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (為替ヘッジあり)

○ポートフォリオ概況

最終利回り	5.2%
平均残存期間	3.8年
平均デュレーション	3.2年
平均格付	B B -
銘柄数	58銘柄

(注1) 最終利回りは、実際の投資家利回りとは異なります。

(注2) デュレーションとは、金利の変化に対する債券の価格感応度を示す指標で、単位は「年」で表示されます。この値が長い(短い)ほど、金利の変化に対する債券価格の変動率が大きく(小さく)なります。

(注3) 平均格付とは、基準日時点での保有債券に係る信用格付を加重平均したものであり、指定投資信託証券に係る信用格付ではありません。

○種別構成比

債券種別	純資産比
債券	98.9%
バンク・ローン	0.0%
現預金等	1.1%
合計	100.0%

(注) 純資産比は指定投資信託証券の純資産額に対する比率です。

○格付別構成比

格付	純資産比
B B B以上	3.7%
B B	60.3%
B	27.8%
C C C以下	3.9%
無格付	3.2%
現預金等	1.1%
合計	100.0%

(注1) 格付構成比はS & Pの格付における分類です。

(注2) 純資産比は指定投資信託証券の純資産額に対する比率です。

○国別構成比

国・地域名	純資産比
米国	93.1%
ルクセンブルク	2.9%
アイルランド	2.1%
その他	0.8%
現預金等	1.1%
合計	100.0%

(注1) 国・地域は組入れ銘柄の発行体の所在国・地域を示しています。

(注2) (注) 純資産比は指定投資信託証券の純資産額に対する比率です。

ウィズダムツリー・U.S.クオリティ・ディビデンド・グロース・ファンド

○組入上位5銘柄

(組入銘柄数：297銘柄)

銘柄名	国・地域名	業種名	構成比
ジョンソン・エンド・ジョンソン	米国	ヘルスケア	5.8%
アップル	米国	情報技術	3.5%
マイクロソフト	米国	情報技術	3.4%
アルトリア・グループ	米国	生活必需品	3.2%
ペプシコ	米国	生活必需品	2.9%

※当該銘柄の売買を推奨するものではありません。

○業種別構成比

業種	構成比
情報技術	20.2%
ヘルスケア	19.0%
資本財・サービス	18.6%
一般消費財・サービス	17.2%
生活必需品	15.6%
その他	9.4%
合計	100.0%

○国・地域別構成比

業種	構成比
米国	100.0%

(注) 国・地域は組入れ銘柄の発行体のリスク所在国・地域を示しています。

ウィズダムツリー・インターナショナル・ヘッジド・クオリティ・ディビデンド・グロース・ファンド

○組入上位5銘柄

(組入銘柄数：220銘柄)

銘柄名	国・地域名	業種名	構成比
ユニリーバ	オランダ	生活必需品	5.5%
プリティッシュ・アメリカン・タバコ	英国	生活必需品	5.3%
ロシュ・ホールディング	スイス	ヘルスケア	5.1%
エアバス・グループ	オランダ	資本財・サービス	3.3%
LVMHモエヘネシー・ルイヴィトン	フランス	一般消費財・サービス	3.1%

※当該銘柄の売買を推奨するものではありません。

○業種別構成比

業種	構成比
一般消費財・サービス	20.9%
資本財・サービス	19.7%
ヘルスケア	17.6%
生活必需品	17.3%
情報技術	9.0%
その他	15.6%
合計	100.0%

○国・地域別構成比

業種	構成比
英国	18.5%
スイス	12.1%
オランダ	11.4%
日本	11.1%
フランス	7.0%
その他	40.0%
合計	100.0%

(注) 国・地域は組入れ銘柄の発行体のリスク所在国・地域を示しています。

<指定投資信託証券の概要>

ファンド名	ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー グローバル・ショートターム・インベストメント・グレード・フィクスト・インカム・ファンド
ファンド形態	アイルランド籍外国証券投資法人（円建て）
投資目的	投資元本の保全を目指しながら、金利収入獲得の最大化を目指します。
主な投資対象	主として国債、政府機関・国際機関債や投資適格の社債などの先進国の固定金利／変動金利中短期公社債（残存年限5年以内）に為替をヘッジした上で投資します。
主な投資制限	①コマーシャル・ペーパーへの投資にあたっては、格付機関ムーディーズ格付Prime 1、S & P 格付A 1以上、またはフィッチ格付F 1以上の発行体に投資するものとします。 ②その他の公社債への投資にあたっては、格付機関ムーディーズ格付Baa 3、S & P 格付BBB-、またはフィッチによる格付BBB-以上の発行体に投資するものとします。格付がないものについては、運用会社がこれらと同等以上と判断するものとします。 ③リスク管理等を目的として、金融派生商品に投資することがあります。その際、為替予約取引および先物取引以外の金融派生商品の利用を目指すものではありません。また実質的な投資比率が資産総額の100%を超えるような取引は行いません。
投資顧問会社	ディメンショナル・ファンド・アドバイザーズ・リミテッド
決算日	毎年11月30日

■保有有価証券明細

「ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー グローバル・ショートターム・インベストメント・グレード・フィクスト・インカム・ファンド」は2016年11月30日に決算を迎えましたが、2017年1月10日現在、監査報告書の作成が完了していないため、開示できる情報はありません。

ファンド名	グローバル・マルチ・ストラテジーズ・US・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジあり）
ファンド形態	ケイマン籍外国投資信託受益証券（円建て）
投資目的	主に米国市場で取引されているハイ・イールド債券等に行き替をヘッジした上で投資し、インカム・ゲインの獲得と信託財産の成長を目指します。
主な投資対象	米国企業の発行する米ドル建ての短期ハイ・イールド債券（償還期限概ね5年以下）
主な投資制限	①株式への投資は、株式への転換条項の付いた債券から転換された株式への投資に限ります。 ②投資信託証券への投資は行いません。 ③資金借入額は、借入れ指図を行う日における投資信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ④バンク・ローンへの投資割合は、投資信託財産の純資産総額の20%以内とします。 ⑤デリバティブは使用しません。 ⑥空売りは行いません。
投資顧問会社	アリアンツ・グローバル・インベスターズU.S.LLC
決算日	毎年3月31日

■保有有価証券明細

「グローバル・マルチ・ストラテジーズ・US・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジあり）」は2016年3月31日に決算を迎えましたが、当該決算日時点において本ファンドが存在しないため、開示できる情報はありません。

ファンド名	ウィズダムツリー・U. S. クオリティ・ディビデンド・グロース・ファンド
ファンド形態	米国籍上場投資信託証券 (米ドル建て)
投資目的	成長性があり配当の支払いがある米国の大型株式のリターンを投資家に提供することを目指します。
主な投資対象	米国の金融取引所に上場される株式
投資顧問会社	ウィズダムツリー・アセット・マネジメント・インク
決算日	毎年3月31日

■保有有価証券明細

「ウィズダムツリー・U. S. クオリティ・ディビデンド・グロース・ファンド」は2016年3月31日に決算を迎えましたが、当該決算日時点において本ファンドが存在しないため、開示できる情報はありません。

ファンド名	ウィズダムツリー・インターナショナル・ヘッジド・クオリティ・ディビデンド・グロース・ファンド
ファンド形態	米国籍上場投資信託証券 (米ドル建て)
投資目的	成長性があり配当の支払いがある北米を除く世界の先進国の大型株式のリターンを、投資国通貨を米ドルにヘッジした上で投資家に提供することを目指します。
主な投資対象	北米を除く世界の先進国株式
投資顧問会社	ウィズダムツリー・アセット・マネジメント・インク
決算日	毎年3月31日

■保有有価証券明細

「ウィズダムツリー・インターナショナル・ヘッジド・クオリティ・ディビデンド・グロース・ファンド」は2016年3月31日に決算を迎えましたが、当該決算日時点において本ファンドが存在しないため、開示できる情報はありません。